

(様式第4号)

上田市障害者施策審議会 会議概要

1 審議会名	上田市障害者施策審議会
2 日 時	平成28年10月6日 午後1時30分から3時15分まで
3 会 場	上田市役所東庁舎2階大会議室
4 出席者	伊藤(芳)委員、片山委員、小林(彰)委員、小林(功)委員、小山委員、斎藤(惇)委員、斉藤(秀)委員、佐藤委員、高橋委員、堀内委員
5 市側出席者	櫻田福祉部長、小宮山障がい者支援課長、土屋丸子市民サービス課長、大塚真田市民サービス課長、下村武石市民サービス課長 小坂障がい者支援担当係長、小山障がい者支援担当係長、 大林障がい者支援担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年10月13日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 福祉部長あいさつ・委嘱書の交付

3 委員紹介(自己紹介)

4 事務局紹介(自己紹介)

5 正副会長の選任

会 長：小林彰 委員

副会長：片山優美子 委員

6 正副会長あいさつ

7 協議事項

(1) 第二次上田市障害者基本計画について

事務局において、障害者基本計画(冊子)により説明をする。

(委 員)意見としてですが、50ページ(計画の分野別施策「文化芸術活動、スポーツ活動などの振興」)の中に、団体の活用や連携についてうたうということは、どうですか。

(会 長)すでにつくられた計画ですが事務局どうですか。

(事務局)次回の計画の策定に向けまして、ただ今の意見を反映させていただきたいと思います。

(会 長)これから説明があります障がい福祉計画ですが、第5期について平成30年からの計画となっていますので、文言として盛り込められればと思います。

(副会長)この計画は、7年後に達成されるという意味合いでよろしいですか。

(事務局)この計画の中に、数値目標として代表的なものですがうたっています。これについては、達成したかどうかは、はっきり分かると思います。また、文言の表現で、どこまで達成したかどうかは、審議会を中心に随時御検討いただきながら、7年後にはこの計画が達成したという成果を目指していきたいと思います。委員の皆様は、いろいろな御意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

(副会長)この計画について達成したと感じるのは、サービスを利用する本人や家族だと思しますので、7年後にどうしたかと聞くよりも、短いスパンで、みなさんの声を聞くなど情報を収集し現状を確認しながら、これからどのように改善すれば良いのかなどのいろいろなアイデアをお聞きすることにより、7年後には、より実現可能な計画になると思います。

(事務局) 基本計画の下に、この後説明します障がい福祉計画、3年間の計画があります。短いスパンで現状を分析し計画を立てていくものです。期間が7年3年と中長期的であります、委員の御意見のとおり常に毎年振り返ることにより、その時点での課題、今後に向けてどのようにしたら良いのか、常に検討が必要と思います。審議会の中でも、その点よろしくをお願いします。

(会長) この計画は障害者基本法に定められた計画であり、重点施策だけ多少数値目標を入れたほうが良いとのこと策定されたかと思えます。これから説明があります障がい福祉計画に、きちとした数値目標があり、この計画に基づいて、アクションプランとして策定されています。

(2) 第4期上田市障がい福祉計画について

事務局において、障がい福祉計画(冊子)により説明をする。

(会長) 時間の都合上、以下協議事項について事務局に一括説明をしてもらい、最後に各委員に質問や意見、感想等をお願いしたいと思います。

(3) 地域生活支援拠点等の整備について

事務局において、資料により説明をする。

(4) 障害者差別解消法について

事務局において、資料により説明をする。

(会長) 今回は、今までの流れについて一括説明してもらいました。次回以降は、検証していくような作業になるかと思えます。それでは、ここまで通しての質問や意見、または本日の感想等、順番をお願いします。

(委員) いろいろなことを上田市でやってくださっていると感じました。学校だけでは支援しきれない子供さんがかなりおります。たとえば障がいにより、福祉サービス事業所の利用できないお子さんについて、以前、支援検討会議を行ったことがあります。どのように支援したら安心して、上田市の地域で暮らしていけるのか、その方法が見つければ良いと思いました。

(委員) 本日は、これまで市で決めた計画について説明を受けました。計画の中には個人的に該当することもあり、また、私の所属する会に関することもありました。次の会議からは、自分としての意見を反映できるようにしたいと思います。

(会長) 計画全般というよりも、もし、会を代表していらっしゃる方は、その部分について、意見を言ってもらおうと、より深まると思えます。

(委員) 子供と生活していく中で、計画があったから、こうなったという感じは、今ありませんが、他の会員にも、今こういうことがあるのですよと提示できて、提示分について生活をしていく中で、それが感じられるようになると良いと思いました。

(会長) 障がい福祉計画として、数値目標として掲げられないとサービスの提供ができないということではありませんが、数値目標は大事です。計画を見ていただいて、次の計画に反映させていただければと思います。

(委員) 障がい者について、今までも勉強してきましたが、ここまでも深くいろいろなことがあるのだと、今日わかりました。また、これらのことを利用できれば、携わっていければと思いました。

(委員) 障がい者が増えているのに、障がい者団体の加入率が減ってきています。障がい者団体が障がい者にとって、魅力があれば良いのですが、なかなかむずかしい。組織が弱体化している要因に、個人情報保護法があります。いろいろな障がい者団体がありますが、行政と連携して、関わりを強めていければと思います。

(委員) 年々、障がい者の方のニーズが変わってきています。特に児童においては、以前、安心安全な居場所を求められていましたが、今は質を求められています。インクルーシブ教育について、この3年間で構築ができれば良いと思っています。

(委員) 社協としてもこの計画に、多くの事業で関わっています。その一つの住民支え合いマップの話があがっていました。災害時だけの利用だけではなく、個人情報保護のこともあります。日常的に、高齢者や障がい者の方を地域で支え合うことにも利用できるような、少しでも実現すれば良いと思います。

(委員) 市としていろいろなことを考えていること対応されていることが、本当に実現できれば良いとの思いが、たくさんあります。今、現実に、生活しているとなかなか受けたいサービスが受けられないとか、このままだったら子供たちといっしょに生活していくことが難しくなってくるということが現実ですので、これから変えていただき、住みやすく変わっていったと実感できるようになったら、うれしいなと思いました。

(副会長) 以前研究として365日24時間対応で訪問が可能なチームづくりについて見てきましたので、地域生活支援拠点整備事業に役立つ部分もあるかと思いました。また、先ほど大勢のみなさんが話されていましたが、私たちがここに参加する意味について、私たちはこの2年間で何をすれば良いのか、事務局で考えているスケジュールを教えていただくと、今度どのようなつもりで来れば良いのか、1年間どのように考えたら良いのか見えてくると思いますのでよろしくをお願いします。福祉サービスを利用できないとお声があったときに、上田市の予算があるかと思いますが、広域であるサービス以外に、上田市独自のサービスを作りだせるかもしれないとっていて、そういう声を実現できるために私たちなりに考えられることが一つでもあると良いのかと個人的に思います。いろいろな形で皆様の力を合わせて進められれば良いと思いました。

(会長) 今回は説明という感じになったと思いますが、次回からはしっかりと検討ができたと思います。

## 8 事務連絡

次回は2月ごろ審議会を開催したいと思います。

## 9 閉会